

東京の夜

2007.09.05

写真があまりに怖すぎて、誰がこの写真を撮ったか分れば、きっと ; ; ; 。 / 。 / 。 ' 来たばかりだけど、食べるものもなかなかgood、東京の夜景はとても素晴らしいけど、青森はどうかなあ?。。。そこでは寮に住むことになったようです、うーん、残念だ！日本の家庭でゆっくり日本人と交流して、日本の人々と一緒に両国の友好に貢献したかった。。。この2日間、ずっと雨で、少し暗くなりました。自分の日本語レベルはまだまだです。もっと頑張らねば！最後にはがっかりするような結果にはならないはずだと信じて。みんな！それぞれの中国での夢、未来予想図を広げていこう！ Ha！それではまた。

腹たつう！

2007.09.05

日記2度書いたが、両方ともうまく載せられなかった。感情をこめて書いた日記なのに、無駄になった!! つまらない!!!

独りで住む青森

2007.09.12

ここには中国人がとてたくさんいます!彼らは僕をよく助けてくれます。ここは聞いてたほど寒くありません。まだ寮の生活には慣れないけど、日本の食事は本当に美味しい。。。最近、コンピュータを買いたくて。*寮には1台のテレビだけしかありません*あ〜あ 言われてるリンゴ、僕もまだ食べていません! クラスメート達はとっても親切、ここがすごく好きになりそうです!

いつも心地よいです！

2007.09.30

この天気はとても変です、昼間の太陽はとても過酷だけど、夜になると、そよ風でもガタガタ震えてしまう。パソコンを買ったところです。プロセスは結構複雑だけど、うまくいってますよ。毎日とても幸せを感じる事は、学校でクラスメートに会うことです。彼らはみなとても親切です。授業が終わると僕の机の周りに集まってきてくれる。立ってられないと、しゃがんだり、あぐらで座って僕の上手いとは言えない話を聞いてくれ、お互いに興味のある事を話します。僕が来てひと月が経とうとしてるけど、この熱意は少しも減ることはないです。5, 6人が中国語を始めました。毎朝僕は日本語を学び、彼らは中国語を学びます。お互い参考にしあい、一丸となっています。最高です！何日が前に、ついに言われてた青森のリンゴを食べました。評判どおりでした！この間十和田湖に遠足に行きました。小グループに分かれ、火をおこし、緑の山から落ちてくる滝のそばでバーベキューをした。huhu かなり美味かったよ！青森は大きくはないけど、人情味にあふれています。この点は、僕の故郷の東北とかなり似ています。ここでは、おそらく日本の都会の様子に、接する機会は少ないと思う。時代の先端の物や経験は得られないかもしれないけど、ここの生活は快適です。ひょっとして、来たばかりの時選べたとしたら、ここを選ぶことはなかったかもしれない。でも来てみて初めて解った。悔いるなんて何も無い。ここでのどの時間も、辛いどころか、心地よいものなのです！

山田高校の学園祭

2007.10.19

1年に1度の学園祭に参加できました。内容はいろいろ、生花の展示、家庭科作品展、食べ物屋、美術展、写真展、中学校作品展。。。それに書道、理科、考古学などなど、ハハ、もちろん参観は無料です！ 学園祭は二日に分けて行われました。私達の学校は規模も大きく、五つの付属幼稚園、高等部と中等部がひとつずつ、大学がみつあります。主催する高等部には来客数も多く、数千人もの学生と、家族、他校からの友人など誰でも山田校生の手厚いもてなしを受けることができます！しかも全てお金を払う必要がないのです。料理や、茶道など少々は払いますけれどね。そうだ、自分の担当のことを紹介するのを忘れていました。私は山田高校茶道部の主力メンバーの一員になっております、ウッシシ。茶道を簡単だなんて思わないでください。お作法と手順、特にお茶をたてる手立てなど、とても短時間では学びきれません。学園祭期間はお茶一杯250円です。お茶菓子つき。安いなあと思いませんか。でも私達は学園祭で181枚のお茶券を売りさばいたのですよ！// 丸二日間、ずっと部内で働いていました。何でも手伝って、へ、へ、へ、へ疲れたけれど楽しかったなあ。

修学旅行//関西！！沖縄！！！！

2007.11.30

ハッピー、もうすぐ修学旅行だ。どこに行くかって？思いがけなく一度に沖縄、大阪、京都、奈良に行けるんだ。。。考えるだけで興奮するよ！12月7日に出発だ。明日からの連休に、服を全部洗濯しておかないと。どっちみち向こうは間違いなく青森より暖かいだろう。先週には誘惑にガマンできずカメラまで買ってしまった。おかげで今財布の中が寂しい。銀行に行って基金会のお金をおろして急場をしのぐしかない。僕が心配なのは、行った先で目に入ったものを片っ端から買ってしまうこと。自分をしっかりコントロールしなければ！強君はすでに修学旅行に乗じてたくさん買い物をして、国内にいる友達に送ってあげたそうだ。でも僕は今回ちょっと節約することにしよう。もしお正月に本当にみんなと会うチャンスがあったら、そのときは僕の今の地元が誇る特産品.....リンゴをみんなに献上するよ!じゃ、旅行から帰ったらまたお土産話を聞かせてあげるよ。

昨年はお世話になりました！

2008.02.09

ずっと日記書いてなかった。各地にいる皆元気かな？新年は異国にいるからまた違った趣があるよ。だけど日に日に繁栄していく僕らの祖国には本当に喜びを感じるよ。まだ1年前のおいしい年越しご飯の味が思い出される。耳元には爆竹の奏でる音楽がまだ鳴り響いてる・・・はは、本当に貴重な旅行だよ！皆や先生方に新年のあいさつするの忘れてた。僕達がこの一年も成長し続け、足元の道をしっかりと踏みしめて、この青春時代を謳歌できるように祈るよ。今はネット回線の調子がいいから、だんだんと修学旅行とかの文をアップしていくよ。期待しててね！

//修学旅行の回想//沖縄編 写真付き！

2008.02.12

修学旅行のこと話さなきゃ、今でもやはり記憶に新しい0=0今! 旅行前の準備は複雑で、こまごましたものだった。みんなは経験済みだから、多くを言わなくても大丈夫なんだ。あの日の朝は6時半に全員の朝会があった、どの生徒も大小のバッグを例年のように持っている、バスで空港に行く途中、みんなの顔は早起きの辛さも、期待のあまり消えていた。でも空港で2時間待たされたのは面白くなかった、ボディチェックや荷物を預ける以外、だたおしゃべりして時間を潰すしかなかった。僕達は先ず東京に着き、その後沖縄那覇空港行きに乗り換えた！ 初日:沖縄の気候は本当に気持ちいい、暖かさが心まであつたかくしてくれる。ガイドはすぐに僕達を連れて出発した、目的地-守礼門、首里城公園。この中国の明朝時代の建物は、まるで人を惑わすかのような小さな故宮だ、重厚な中国式宮殿、まるで琉球王国の昔の聳える雄武を見るようだった！ 翌日:前の夜よく休めたので、ホテルの菊花茶はとて美味しく感じた。朝、光溢れる暖かい風が涼風に混じって爽やかに吹いてくる、僕達は東南植物園に向かった、まさに南国ムード、ヤシの風が吹き抜けている！ 不思議な亜熱帯、熱帯植物は目を奪われたままだ、それに超恐そうな白い蛇、僕は蛇の頭を抱いて写真を撮った、勇敢だと思わない！ その後、休まずに風光明媚な万座毛に向かった、波風沸きたつ海岸を目前にした、それは従ってるのか溶けあってるのか？ 次の日:最後に一日だ、一番忘れ難い、名護バイン園、摩文仁の丘など。圧巻は海洋記念公園だ！ イルカのショー、ヒトデに触ったり、きれいなサイン帳探したり、声も出ないほどの海底通路。。。魚はまるでそばを泳いでいるよう、喝采絶えない彼らの動きは、観客に挨拶してるかのような、これは渾然とした自然な海の芸術だ！。。。短い3日間だった、沖縄料理は独特の濃い味付けで僕達を送ってくれた。さよなら、ザクロの実が美しい比類なき沖縄！ 次の場所は、-----京都！！ こう御期待

新しい友達

2008.07.11

今月の初めのころ、三人の中国人学生がうちのクラスに来た。みんなハルビンから来た留学生なのだ。ここで卒業できるのがうらやましいね。でも、かれらは日本語でクラスメートと話すのはちょっと無理なので、このごろはくはずっとかれらの通訳をしてる。もっとも短い時間で学校の生活に慣れるようにしてあげる、頑張り。かれらは裴東梅の昔の学友だよ、東北の人で、お国のなまりは出やすいからね。

さよならを言わなければならない最後

2008.07.15

カレンダーを見る習慣がないけど心で残る日数をひそかに数える、最後の毎日があっという間に過ぎちゃって、残った記憶の整理は間に合わないみたい最近、最後に食堂のカレーを食べた、最後にito-yo-kado-で買い物をした、最後に極楽湯で温泉浴をした、最後にMcを食べてjuscoで映画を見た、最後に城南のバスを諦めてone公園でバスケットボールをした、最後に、、、修学旅行についての暖かい記憶がぼんやりと残った。沖縄の日差し、神戸のステーキ、奈良の鹿の遊び、京都のしとしとした雨、大阪のuniversalの姿、、、さらば、友達との苦しみと楽しみ、コーヒー、涙とペン 孤独な恋しい思いに直面する、心が真実だから、静かさと清らかさが感じられる。懐かしさの中で、日本との縁をもう一度待ってる。さよならは最後のものではない。すべては陰干しした標本になって、かつての一年にかけてある。ぼくの心がその青春をあげる。

止まらない最終列車

2008.07.16

最近、青森の雨はベルのリズムが乱れているようだ。放課後、長くて茫然とさせるたそがれが久しぶりだ。クラスの女の子からのメールに「うぢ本当に李くん大好きだよ!!」、男の子は「李ずっと友達だよ!!!!!!」って書いてあった。昔はとにかく、今度だけは心の感動した火を徹底的に消すことができなくなった。お互いの未来への努力を話さなくても、心にかけてくれて、心配してくれる人がいたら、幸せに思うよ。そして、一人だけでない。しかも、外国に。それらの抱いた人、握手した手、流れた涙、歌った歌などのいわゆる過去のことは幸せというものだ。 たぶん、これから、長春のある雪の後に思い出の灯を点して、昔の事を思い出すかもしれない。 あの時、笑っても泣いても、楽しさは心に輝いてる！ 北国の青森からの祝福